

保育士養成課程の教科目及び教授内容等について

第8回保育士養成課程等検討会	参考資料1
平成29年10月4日	

※現行の保育士養成課程の各教科目のうち、通知により示している教授内容の標準的事項である。

系列	教科目	授業形態	単位数	目標（理解すべきこと）	教授内容（標準的事項）
1	① 保育原理	講義	2	保育の意義	保育の理念と概念、児童の最善の利益を考慮した保育、保護者との協働、保育の社会的意義、保育所保育と家庭的保育、保育所保育指針の制度的位置づけ
				保育所保育指針における保育の基本	養護と教育の一体性、環境を通して行う保育、発達過程に応じた保育、保護者との緊密な連携、倫理観に裏付けられた保育士の専門性
				保育の目標と方法	現在を最もよく生き望ましい未来をつくり出す力の基礎、生活と遊びを通して総合的に行う保育、保育における個と集団への配慮、計画・実践・記録・評価・改善の過程の循環
				保育の思想と歴史的変遷	諸外国の保育の思想と歴史、日本の保育の思想と歴史
				保育の現状と課題	諸外国の保育の現状と課題、日本の保育の現状と課題
2	① 教育原理	講義	2	教育の意義、目的及び児童福祉等との関連性	教育の意義、教育の目的、教育と児童福祉の関連性、人間形成と家庭・地域・社会等との関連性
				教育の思想と歴史的変遷	諸外国の教育思想と歴史、日本の教育思想と歴史、児童観と教育観の変遷
				教育の制度	教育制度の基礎、教育法規・教育行政の基礎、諸外国の教育制度
				教育の実践	教育実践の基礎理論（内容、方法、計画と評価）、教育実践の多様な取り組み
				生涯学習社会における教育の現状と課題	生涯学習社会と教育、現代の教育課題
3	① 児童家庭福祉	講義	2	現代社会における児童家庭福祉の意義と歴史的変遷	児童家庭福祉の理念と概念、児童家庭福祉の歴史的変遷、現代社会と児童家庭福祉
				児童家庭福祉と保育	児童家庭福祉の一分野としての保育、児童の人権擁護と児童家庭福祉
				児童家庭福祉の制度と実施体系	児童家庭福祉の制度と法体系、児童家庭福祉行財政と実施機関、児童福祉施設等、児童家庭福祉の専門職・実施者
				児童家庭福祉の現状と課題	少子化と子育て支援サービス、母子保健と児童の健全育成、多様な保育ニーズへの対応、児童虐待防止・ドメスティックバイオレンス、社会的養護、障害のある児童への対応、少年非行等への対応
				児童家庭福祉の動向と展望	次世代育成支援と児童家庭福祉の推進、保育・教育・療育・保健・医療等との連携とネットワーク、諸外国の動向
4	① 社会福祉	講義	2	現代社会における社会福祉の意義と歴史的変遷	社会福祉の理念と概念、社会福祉の歴史的変遷
				社会福祉と児童家庭福祉	社会福祉の一分野としての児童家庭福祉、児童の人権擁護と社会福祉、家庭支援と社会福祉
				社会福祉の制度と実施体系	社会福祉の制度と法体系、社会福祉行財政と実施機関、社会福祉施設等、社会福祉の専門職・実施者、社会保障及び関連制度の概要
				社会福祉における相談援助	相談援助の意義と原則、相談援助の方法と技術
				社会福祉における利用者の保護にかかわる仕組み	情報提供と第三者評価、利用者の権利擁護と苦情解決
				社会福祉の動向と課題	少子高齢化社会への対応、在宅福祉・地域福祉の推進、保育・教育・療育・保健・医療等との連携とネットワーク、諸外国の動向

	系列	教科目	授業形態	単位数	目標（理解すべきこと）	教授内容（標準的事項）
5	①	相談援助	演習	1	相談援助の概要	相談援助の理論、相談援助の意義、相談援助の機能、相談援助とソーシャルワーク、保育とソーシャルワーク
					相談援助の方法と技術	相談援助の対象、相談援助の過程、相談援助の技術・アプローチ
					相談援助の具体的展開	計画・記録・評価、関係機関との協働、多様な専門職との連携、社会資源の活用・調整・開発
					事例分析	虐待の予防と対応等の事例分析、障害のある子どもとその保護者への支援等の事例分析、ロールプレイ・フィールドワーク等による事例分析
6	①	社会的養護	講義	2	現代社会における社会的養護の意義と歴史的変遷	社会的養護の理念と概念、社会的養護の歴史的変遷
					社会的養護と児童家庭福祉	児童家庭福祉の一分野としての社会的養護、児童の権利擁護と社会的養護
					社会的養護の制度と実施体系	社会的養護の制度と法体系、社会的養護の仕組みと実施体系、家庭的養護と施設養護、社会的養護の専門職・実施者
					施設養護の実際	施設養護の基本原則、施設養護の実際（日常生活支援、治療的支援、自己実現・自立支援等）、施設養護とソーシャルワーク
					社会的養護の現状と課題	施設等の運営管理、倫理の確立、被措置児童等の虐待防止、社会的養護と地域福祉
7	①	保育者論	講義	2	保育者の役割と倫理	役割、倫理
					保育士の制度的位置づけ	資格、要件、責務
					保育士の専門性	養護と教育、保育士の資質・能力、知識・技術及び判断、保育の省察、保育課程における保育の展開と自己評価
					保育者の協働	保育と保護者支援にかかわる協働、専門職間及び専門機関との連携、保護者及び地域社会との協働、家庭的保育者等との連携
					保育者の専門職的成長	専門性の発達、生涯発達とキャリア形成
8	②	保育の心理学Ⅰ	講義	2	保育と心理学	子どもの発達を理解することの意義、保育実践の評価と心理学、発達観・子ども観と保育観
					子どもの発達理解	子どもの発達と環境、感情の発達と自我、身体的機能と運動機能の発達、知覚と認知の発達、言葉の発達と社会性
					人との相互的かかわりと子どもの発達	基本的信頼感の獲得、他者とのかかわり、社会的相互作用
					生涯発達と初期経験の重要性	生涯発達と発達援助、胎児期及び新生児期の発達、乳幼児期の発達、学童期から青年期の発達、成人期・老年期の発達
9	②	保育の心理学Ⅱ	演習	1	子どもの発達と保育実践	子ども理解における発達の把握、個人差や発達過程に応じた保育、身体感覚を伴う多様な経験と環境との相互作用、環境としての保育者と子どもの発達、子ども相互のかかわりと関係作り、自己主張と自己統制、子ども集団と保育の環境
					生活や遊びを通じた学びの過程	子どもの生活と学び、子どもの遊びと学び、生涯にわたる生きる力の基礎を培う
					保育における発達援助	基本的生活習慣の獲得と発達援助、自己の主体性の形成と発達援助、発達の課題に応じた援助やかかわり、発達の連続性と就学への支援、発達援助における協働、現代社会における子どもの発達と保育の課題

	系列	教科目	授業形態	単位数	目標（理解すべきこと）	教授内容（標準的事項）
10	②	子どもの保健Ⅰ	講義	4	子どもの健康と保健の意義	生命の保持と情緒の安定に係る保健活動の意義と目的、健康の概念と健康指標、地域における保健活動と児童虐待防止
					子どもの発育・発達と保健	生物としてのヒトの成り立ち、身体発育と保健、生理機能の発達と保健、運動機能の発達と保健、精神機能の発達と保健
					子どもの疾病と保育	子どもの健康状態の把握と主な疾病の特徴、子どもの疾病の予防と適切な対応
					子どもの精神保健	子どもの生活環境と精神保健、子どもの心の健康とその課題
					環境及び衛生管理並びに安全管理	保育環境整備と保健、保育現場における衛生管理、保育現場における事故防止及び安全対策並びに危機管理
					健康及び安全の実施体制	職員間の連携と組織的取組、母子保健対策と保育、家庭・専門機関・地域との連携
11	②	子どもの保健Ⅱ	演習	1	保健活動の計画及び評価	保健計画の作成と活用、保健活動の記録と自己評価、子どもの保健に係る個別対応と子ども集団全体の健康と安全・衛生管理
					子どもの保健と環境	保健における養護と教育の一体性、子どもの健康増進と保育の環境、子どもの生活習慣と心身の健康、子どもの発達援助と保健活動
					子どもの疾病と適切な対応	体調不良や傷害が発生した場合の対応、感染症の予防と対策、個別的な配慮を必要とする子どもへの対応（慢性疾患、アレルギー性疾患等）、乳児への適切な対応、障害のある子どもへの適切な対応
					事故防止及び健康安全管理	事故防止及び健康安全管理に関する組織的取組、救急処置及び救急蘇生法の習得、保育における看護と応急処置、災害への備えと危機管理
					心とからだの健康問題と地域保健活動	子どもの養育環境と心の健康問題、心とからだの健康づくりと地域保健活動
12	②	子どもの食と栄養	演習	2	子どもの健康と食生活の意義	子どもの心身の健康と食生活、子どもの食生活の現状と課題
					栄養に関する基本的知識	栄養の基本的概念と栄養素の種類と機能、食事摂取基準と献立作成・調理の基本
					子どもの発育・発達と食生活	乳児期の授乳・離乳の意義と食生活、幼児期の心身の発達と食生活、学童期の心身の発達と食生活、生涯発達と食生活
					食育の基本と内容	食育における養護と教育の一体性、食育の内容と計画及び評価、食育のための環境、地域の関係機関や職員間の連携、食生活指導及び食を通じた保護者への支援
					家庭や児童福祉施設における食事と栄養	家庭における食事と栄養、児童福祉施設における食事と栄養
					特別な配慮を要する子どもの食と栄養	疾病及び体調不良の子どもへの対応、食物アレルギーのある子どもへの対応、障害のある子どもへの対応
13	②	家庭支援論	講義	2	家庭支援の意義と役割	家庭の意義と機能、家庭支援の必要性、保育士等が行う家庭支援の原理
					家庭生活を取り巻く社会的状況	現代の家庭における人間関係、地域社会の変容と家庭支援、男女共同参画社会とワークライフバランス
					子育て家庭の支援体制	子育て家庭の福祉を図るための社会資源、子育て支援施策・次世代育成支援施策の推進
					多様な支援の展開と関係機関との連携	子育て支援サービスの概要、保育所入所児童の家庭への支援、地域の子育て家庭への支援、要保護児童及びその家庭に対する支援、子育て支援における関係機関との連携、子育て支援サービスの課題

	系列	教科目	授業形態	単位数	目標（理解すべきこと）	教授内容（標準的事項）
14	③	保育課程論	講義	2	保育の計画と評価の基本	カリキュラムの基礎理論、保育所における保育の計画と評価の意義、保育所以外の児童福祉施設における計画と評価の意義、計画・実践・省察・評価・改善の過程の循環による保育の質の向上
					保育所における保育の計画	保育所保育指針と幼稚園教育要領、保育課程と指導計画、保育課程の編成、指導計画（長期的・短期的）の作成と作成上の留意事項
					保育の計画の作成と展開	保育課程の編成と展開、指導計画の実際の作成と展開
					保育所における保育の評価	保育の省察及び記録、保育士及び保育所の自己評価、保育の計画の再編成、生活と発達の連続性を踏まえた保育所児童保育要録
15	③	保育内容総論	演習	1	保育の基本と保育内容	保育所保育指針に基づく保育の基本及び保育内容の理解、保育の全体構造と保育内容
					保育内容の歴史の変遷	保育内容の歴史の変遷
					保育内容と子ども理解	子どもの発達の特性と保育内容、個と集団の発達と保育内容、保育における観察、保育における記録
					保育の基本を踏まえた保育内容の展開	養護と教育が一体的に展開する保育、環境を通して行う保育、遊びによる総合的な保育、生活や発達の連続性に考慮した保育、家庭・地域・小学校との連携を踏まえた保育
					保育の多様な展開	乳児保育、長時間の保育、特別な支援を必要とする子どもの保育、多文化共生の保育
16	③	保育内容演習	演習	5	総合的な保育展開のための知識・技術・判断力	養護 教育（健康、人間関係、環境、言葉及び表現の5領域）
17	③	乳児保育	演習	2	乳児保育の理念と役割	乳児保育の理念と歴史の変遷、乳児保育の役割と機能
					乳児保育の現状と課題	保育所における乳児保育、乳児院における乳児保育、家庭的保育等における乳児保育、乳児や家庭を取り巻く環境と子育て支援の場
					3歳未満児の発達と保育内容	乳児保育における基本的な知識・技術に基づく援助や関わり、6か月未満児の発達と保育内容、6か月から1歳3か月未満児の発達と保育内容、1歳3か月から2歳未満児の発達と保育内容、2歳児の発達と保育内容
					乳児保育の実際	乳児保育における基本的な知識・技術に基づく援助や関わり、6か月未満児の発達と保育内容、6か月から1歳3か月未満児の発達と保育内容、1歳3か月から2歳未満児の発達と保育内容、2歳児の発達と保育内容
					乳児保育における連携	保護者とのパートナーシップ、保健医療機関・家庭的保育・地域子育て支援等との連携
18	③	障害児保育	演習	2	障害児保育を支える理念	「障害」の概念と障害児保育の歴史の変遷、障害児保育の基本
					障害の理解と保育における発達の援助	肢体不自由児、視覚・聴覚障害児等の理解と援助、知的障害児の理解と援助、発達障害児の理解と援助①（ADHD－注意欠陥多動性障害、LD－学習障害等）、発達障害児の理解と援助②（PDD－広汎性発達障害等）
					障害児保育の実際	保育課程に基づく指導計画の作成と記録及び評価、個々の発達を促す生活や遊びの環境、子ども同士のかかわりと育ち合い、職員間の協働
					家庭及び関係機関との連携	保護者や家族に対する理解と支援、地域の専門機関等との連携及び個別の支援計画の作成、小学校等との連携
					障害のある子どもの保育にかかわる現状と課題	保健・医療における現状と課題、福祉・教育における現状と課題、支援の場の広がりにつながり

	系列	教科目	授業形態	単位数	目標（理解すべきこと）	教授内容（標準的事項）
19	③	社会的養護内容	演習	1	社会的養護における児童の権利擁護と保育士等の倫理及び責務	児童の権利擁護、保育士等の倫理及び責務
					社会的養護の実施体系	施設養護の特性及び実際、里親制度の特性及び実際
					支援の計画と内容及び事例分析	個別支援計画の作成、日常生活支援に関する事例分析、治療的支援に関する事例分析、自立支援に関する事例分析、記録及び自己評価
					社会的養護にかかわる専門的技術	保育士の専門性にかかわる知識・技術とその応用、ソーシャルワークにかかわる知識・技術とその応用
					今後の課題と展望	施設の小規模化と地域とのかかわり、社会的養護の課題と展望
20	③	保育相談支援	演習	1	保育相談支援の意義	保護者に対する保育相談支援の意義、保育の特性と保育士の専門性を生かした支援
					保育相談支援の基本	子どもの最善の利益と福祉の重視、子どもの成長の喜びの共有、保護者の養育力の向上に資する支援、信頼関係を基本とした受容的かかわり・自己決定・秘密保持の尊重、地域の資源の活用と関係機関等との連携・協力
					保育相談支援の実際	保育に関する保護者に対する指導、保護者支援の内容、保護者支援の方法と技術、保護者支援の計画・記録・評価・カンファレンス
					児童福祉施設における保育相談支援	保育所における保育相談支援の実際、保育所における特別な対応を要する家庭への支援、児童養護施設等要保護児童の家庭に対する支援、障害児施設・母子生活支援施設における保育相談支援
21	④	保育の表現技術	演習	4	身体表現に関する知識や技術	子どもの発達と運動機能や身体表現に関する知識と技術、見立てやごっこ遊び・劇遊び・運動遊び等における子どもの経験と保育の環境、子どもの経験や様々な表現活動と身体表現とを結びつける遊びの展開
					音楽表現に関する知識や技術	子どもの発達と音楽表現に関する知識と技術、身近な自然やものの音や音色・人の声や音楽等に親しむ経験と保育の環境、子どもの経験や様々な表現活動と音楽表現とを結びつける遊びの展開
					造形表現に関する知識や技術	子どもの発達と造形表現に関する知識と技術、身近な自然やものの色や形・感触やイメージ等に親しむ経験と保育の環境、子どもの経験や様々な表現活動と造形表現とを結びつける遊びの展開を豊かにし感性を養うための環境構成と保育の展開
					言語表現等に関する知識や技術	子どもの発達と絵本・紙芝居・人形劇・ストーリーテリング等に関する知識と技術、子ども自らが児童文化財等に親しむ経験と保育の環境、子どもの経験や様々な表現活動と児童文化財等を結びつける遊びの展開
					教材等の活用及び作成と保育の展開	様々な遊具や用具・素材や教材等の特性の理解と活用及び作成、子どもの遊びやイメージ

	系列	教科目	授業形態	単位数	目標（理解すべきこと）	教授内容（標準的事項）
22	⑤	保育実習Ⅰ	実習	4		
		(保育所実習)		2	保育所の役割と機能	保育所の生活と一日の流れ、保育所保育指針の理解と保育の展開
					子ども理解	子どもの観察とその記録による理解、子どもの発達過程の理解、子どもへの援助やかかわり
					保育内容・保育環境	保育の計画に基づく保育内容、子どもの発達過程に応じた保育内容、子どもの生活や遊びと保育環境、子どもの健康と安全
					保育の計画、観察、記録	保育課程と指導計画の理解と活用、記録に基づく省察・自己評価
					専門職としての保育士の役割と職業倫理	保育士の業務内容、職員間の役割分担や連携、保育士の役割と職業倫理
		(施設実習)		2	施設の役割と機能	施設の生活と一日の流れ、施設の役割と機能
					子ども理解	子どもの観察とその記録、個々の状態に応じた援助やかかわり
					養護内容・生活環境	計画に基づく活動や援助、子どもの心身の状態に応じた対応、子どもの活動と生活の環境、健康管理・安全対策の理解
					計画と記録	支援計画の理解と活用、記録に基づく省察・自己評価
専門職としての保育士の役割と倫理	保育士の業務内容、職員間の役割分担や連携、保育士の役割と職業倫理					
23	⑤	保育実習指導Ⅰ	演習	2	保育実習の意義	実習の目的、実習の概要
					実習の内容と課題の明確化	実習の内容、実習の課題
					実習に際しての留意事項	子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務、実習生としての心構え
					実習の計画と記録	実習における計画と実践、実習における観察・記録及び評価
					事後指導における実習の総括と課題の明確化	実習の総括と自己評価、課題の明確化
24	⑥	保育実践演習	演習	2	保育に関する科目横断的な学習能力、保育に関する現代的課題についての現状分析・考察・検討、問題解決のための対応・判断方法、保育士として必要な知識・技能を修得したことの確認	「保育にかかわる課題の分析・考察・検討、課題に係る児童や保護者を援助するための技術・方法等、問題の発見と問題を解決する過程や解決内容を再検討する手法の取得」又は「必修科目及び選択必修科目の履修状況や保育実習を通しての学び等を踏まえた、保育士として必要な知識技能を修得したことの確認」
25	⑤	保育実習Ⅱ (保育所実習)	実習	2	保育所の役割や機能の具体的展開	養護と教育が一体となって行われる保育、保育所の社会的役割と責任
					観察に基づく保育理解	子どもの心身の状態や活動の観察、保育士等の動きや実践の観察、保育所の生活の流れや展開の把握
					子どもの保育及び保護者・家庭への支援と地域社会	環境を通して行う保育、生活や遊びを通して総合的に行う保育の理解、入所している子どもの保護者支援及び地域の子育て家庭への支援、地域社会との連携
					指導計画の作成、実践、観察、記録、評価	保育課程に基づく指導計画の作成・実践・省察・評価と保育の過程の理解、作成した指導計画に基づく保育実践と評価
					保育士の業務と職業倫理	多様な保育の展開と保育士の業務、多様な保育の展開と保育士の職業倫理
					自己の課題の明確化	自己の課題の明確化

	系列	教科目	授業形態	単位数	目標（理解すべきこと）	教授内容（標準的事項）
26	⑤	保育実習Ⅲ (施設実習)	実習	2	児童福祉施設等(保育所以外)の役割と機能	児童福祉施設等(保育所以外)の役割と機能
					施設における支援の実際	受容し共感する態度、個人差や生活環境に伴う子どものニーズの把握と子ども理解、個別支援計画の作成と実践、子どもの家族への支援と対応、多様な専門職との連携、地域社会との連携
					保育士の多様な業務と職業倫理	保育士の多様な業務と職業倫理
					保育士としての自己課題の明確化	保育士としての自己課題の明確化
27	⑤	保育実習指導 Ⅱ・Ⅲ	演習	1	保育実習による総合的な学び	子どもの最善の利益を考慮した保育の具体的理解、子どもの保育と保護者支援
					保育実践力の育成	子どもの状態に応じた適切なかかわり、保育の表現技術を生かした保育実践
					計画と観察、記録、自己評価	保育の全体計画に基づく具体的な計画と実践、保育の観察・記録・自己評価に基づく保育の改善
					保育士の専門性と職業倫理	保育士の専門性と職業倫理
					事後指導における実習の総括と評価	実習の総括と自己評価、課題の明確化

(※) 「系列」欄は、現行の厚生労働大臣告示における各教科目の系列であり、①保育の本質・目的に関する科目、②保育の対象の理解に関する科目、③保育の内容・方法に関する科目、④保育の表現技術、⑤保育実習、⑥総合演習を示す。